

第2回総括タスク 議事録

1. 日時 平成19年3月2日（金） 16:30～18:20

2. 場所 電気倶楽部 第2会議室

3. 出席者（敬称略）

出席委員：飯塚主査（東京大学），渡邊副査（東京電力），宮越（三菱重工業）

事務局：池田，長谷川，国則（日本電気協会）

4. 配付資料

資料 No. 2-1 第1回総括タスク 議事録（案）

資料 No. 2-2 平成19年度 品質保証分科会活動について

5. 議事

(1) 第1回総括タスク 議事録（案）について

議案決議の定足条件を満たしていないため，第1回議事録（案）については，追而メールによる審議を行うこととした。

(2) 品質保証分科会活動について

渡邊副査より，資料 No. 2-2 に基づき，平成18年度の活動実績，平成19年度の活動計画，体制について説明があり，以下のような議論を行った。

- ・ 今年度見送りを検討する JEAC4111 の改定内容とは，参考などへの根本原因分析に関する記載追加，目的への安全文化に関する記載追加，解説中で古い IAEA コードを記載している箇所の修正の3点である。
- ・ 要求事項規格の改定は，本来の狙い以上に過大に受け取られ混乱を招く恐れがあるため，なるべく頻度を少なくし意味のある大きさで行うべきである。根本原因分析に関する規制要求が法律で追加された場合でも，要求事項の連鎖として矛盾がなければ，JEAC4111 を改定しないことも可能であるし，安全文化や IAEA コードの箇所は要求事項ではなく，また，IAEA コードの改定については，まだ新旧比較がオーソライズされた形で発行されていないなどのことから，今回性急に JEAC4111 を改定せずに，5年毎の定期見直しの検討のタイミングとなる来年度に改定の検討するのがよい。
- ・ JEAG4121 の改定については，事業者などのニーズに基づき判断すればよく，今回調達管理の記載追加を実施するのであれば，その方針で進めればよい。また，JEAC4111 と JEAG4121 は，スタンスが異なるので，資料中の記載を分けた方がよい。

- ・ 来年度の定期見直しの検討の際には、事業者や規制からの改定要望などを確認する
必要があり、分科会、検討会委員を通したアンケートなどを実施するのがよい。
- ・ アンケートでは、条文毎に、改定要望、背景要因、もしあれば具体的な改定案、規
格要求事項以外のシステムなどの問題点などを集めるのがよい。
- ・ JEAG4121 の改定の内、根本原因分析のガイド案の部分については、内容の成熟度と
位置づけの再確認の観点から、次回の品質保証検討会、分科会、原子力規格委員会
には上程せず、次回以降の上程とするよう検討したい。
- ・ 講習会コースⅣとしての事例発表ワークショップは、品質月間の 11 月 12 日を第 1
候補日として、200 名程度の受講者で開催を計画する。事務局は、適切な範囲での
低廉な参加料設定と、品質管理学会の後援可否を検討すること。

以 上